

ローマ字と親しもう

■ローマ字

	ア列	イ列	ウ列	エ列	オ列			
	A/a	I/i	U/u	E/e	O/o			
ア行	あ a	い i	う u	え e	お o			
カ行	か ka	き ki	く ku	け ke	こ ko	きゃ kya	きゅ kyu	きょ kyo
サ行	さ sa	し shi	す su	せ se	そ so	しゃ sha	しゅ shu	しょ sho
タ行	た ta	ち chi	つ tsu	て te	と to	ちゃ cha	ちゅ chu	ちょ cho
ナ行	な na	に ni	ぬ nu	ね ne	の no	にゃ nya	にゅ nyu	にょ nyo
ハ行	は ha	ひ hi	ふ fu	へ he	ほ ho	ひゃ hya	ひゅ hyu	ひょ hyo
マ行	ま ma	み mi	む mu	め me	も mo	みゃ mya	みゅ myu	みょ myo
ヤ行	や ya		ゆ yu		よ yo			
ラ行	ら ra	り ri	る ru	れ re	ろ ro	りゃ rya	りゅ ryu	りょ ryo
ワ行	わ wa				を (o)			
ガ行	が ga	ぎ gi	ぐ gu	げ ge	ご go	ぎゃ gya	ぎゅ gyu	ぎょ gyo
ザ行	ざ za	じ ji	ず zu	ぜ ze	ぞ zo	じゃ ja	じゅ ju	じょ jo
ダ行	だ da	ぢ (ji)	づ (zu)	で de	ど do	ぢゃ (ja)	ぢゅ (ju)	ぢょ (jo)
バ行	ば ba	び bi	ぶ bu	べ be	ぼ bo	びゃ bya	びゅ byu	びょ byo
パ行	ぱ pa	ぴ pi	ぷ pu	ぺ pe	ぽ po	ぴゃ pya	ぴゅ pyu	ぴょ pyo
ン	ん n							

() は、別の仮名と同じ発音をするため、別の仮名のつづり方で書くもの。

■書き表し方の決まり

① のばす音の書き方には、二通りあります。

(1) 「a」「i」「u」「e」「o」の上に「-」を付ける。

おかあさん → okāsan ろうそく → rōsoku

(2) 平仮名どおりに「a」「i」「u」「e」「o」の文字を重ねて書く。

おかあさん → okaasan ろうそく → rousoku

ふつうは、(1)の書き方を使います。ただし、のばす音のうち、次のものは、ふつう、(2)の書き方を使います。

・イ列

おじいさん → ojiisan おにいさん → oniisan

・エ列のうち、「とけい」など、平仮名で「え」と書かないもの

とけい → tokei えいが → eiga

② つまる音は、「きっぷ」→「kippu」のように、次に来る音の初めの文字を重ねて書き表します。

(ざっし → zasshi がっきゅう → gakk'yū)

③ はねる音「ん (n)」の次に「a」「i」「u」「e」「o」や「y」が来るときなど、読みまちがえないように音の切れ目を表すためには、「'」を付けます。(ぜんいん → zen'in こんや → kon'ya)

④ 人名や地名を書くとき、ふつうは、初めの文字を大文字で書きます。地名などは、全部を大文字で書くこともあります。また、言葉をつなぐ印として、「-」を付けることもあります。

(Kitada Naoya CHIBA Kagawa-ken)

ローマ字の表や説明を参考にしながら、次の問題に取り組みましょう。

1 次のローマ字の読みを、() に書きましょう。

① shokubutsu ()

② ninjin ()

③ tōfu ()

④ chūshajō ()

⑤ gasshuku ()

⑥ nicchoku ()



2 次の言葉をローマ字で書きましょう。

① 地図

② 神社

③ 列車

④ 出発

3 次の言葉は、二通りの書き方があります。ローマ字で書きましょう。

① おばあさん

② 誕生日

③ 制服

④ 親友

4 自分のことについて、ローマ字で書き表しましょう。

① 好きな食べ物



② 好きな教科

